

日本農業労災学会 Newsletter

第19号(No.19) 2025年9月1日発行

●発行：日本農業労災学会事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル4F

株式会社農林水産広報センター内

TEL 03-6380-8955/FAX 03-3239-7344

E-mail a-rosai@circus.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://jfapr.jp/>

会員各位

日本農業労災学会

会 長

田島 淳

第12回大会実行委員長 半杭 真一

2025年度（第12回）日本農業労災学会主催 大会シンポジウムの開催について

平素より学会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り第12回大会シンポジウムを対面とオンラインのハイブリッドで開催いたしますのでご案内申し上げます。

つきましては、本大会シンポジウムに是非とも多くの会員の皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

I 第12回大会シンポジウムの概要

1. 開催日時：2025年10月17日（金）10:00～19:00

2. 会 場：ハイブリッド開催

（東京農業大学世田谷キャンパス 榎本ホール+Zoomによるオンライン）

※交流会は「レストランすずしろ」を予定。

3. 大会概要：

10:00～10:50 個別報告

11:00～11:40 第5回学会賞表彰式

13:00～17:00 シンポジウム

17:10～19:00 交流会

※個別報告等の申込状況により、開会時間等が変更になる場合があります。参加者にはメール等で連絡する予定ですのでご了承ください。

4. 主催団体：日本農業労災学会・東京農業大学総研研究会 3 研究部会

(労災対策研究部会・就農者推進教育研究部会・農業協同組合研究部会)

5. 後援団体：JA 全国組織、JA 単協等

6. シンポジウムの統一テーマ『地球温暖化時代における熱中症対策を考える』

7. シンポジウムの開催趣旨

熱中症とは、高温多湿な環境で体温調節機能が乱れて体内に熱がこもった状態になる病気で、重症化すると命の危険を伴うこともあります。毎年深刻化する地球温暖化の影響は作物・家畜だけでなく、農業労働を担う農業者の安全の大きな脅威となっています。農林水産省によれば、農作業中の熱中症による死亡者は直近 10 年間で 259 人と農作業死亡事故のうちの約 1 割を占めています。特に高齢者で多く発症しています。熱中症の予防については、炎天下での作業、高温多湿のハウス内での作業などの作業環境のリスクへの対応、自覚症状等の異変の早期の発見と対策、作業環境・作業の服装改善などによる総合的な予防対策が重要です。

本シンポジウムでは、総合的な熱中症予防政策、医学的な見地からの熱中症予防・応急対策、農協などの熱中症対策の取り組み、さらには熱中症予防のための各種のアイテムの活用など、熱中症を防いで安全に農作業を行うという視点から、各分野から情報提供をいただき、意見交換を行いたいと考えています。

8. プログラム

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:20 座長解題

13:20～15:10 基調講演 1名 (30分)、講演 4名 (各20分)

15:25～16:05 補足意見ならびにコメント 4名 (各10分)

16:05～16:55 総合討議 (座長総括を含む)

16:55～17:00 閉会挨拶

※詳細は下記の開催要領をご参照ください。

II 大会への参加申し込み・参加費などの支払い方法

1. 参加費等

(1) 大会参加費：2,000 円 (対面・オンライン共通)

ただし、対面参加の場合には報告要旨集を含む (開催当日配布)。

(2) 交流会費：3,500 円

2. 参加申し込み方法

(1) 申し込み先と申し込み期限

1) 大会シンポジウム参加等の申し込み

大会シンポジウムへの参加をご希望の方は、9月24日(水)までに下記の Google フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/g6eYZPEEMURPxQXW8>

2) 個別報告の申し込み

個別報告は対面でもオンラインでも可能です。ご希望の方は、9月24日(水)までに先のGoogleフォームから申し込んでください。

報告希望者は、個別報告要旨を作成のうえ、9月24日(水)必着で、学会事務局(1ページ扉参照)並びに下記の半杭真一大会実行委員長宛(E-mail: sh206187@nodai.ac.jp)とccで北田紀久雄宛(E-mail kitada@nodai.ac.jp)にお申し込みください。個別報告要旨は、A4判1ページにMS-Wordで作成し、1行目に報告題目、2行目に報告者名(所属)、1行空けて4行目から報告内容を1000字程度で記載してください。

個別報告の発表時間は15分、質疑応答が10分を予定しています。ただし、報告数の関係で時間を短縮する場合がありますので、ご了承ください。

(2) 大会参加費等の送金

大会への参加を申し込まれた方には9月25日以降に学会事務局より払込取扱票を郵送いたします。大会参加費(交流会費を含む)は、その払込票に必要事項を記入の上、ゆうちょ銀行(郵便局)より学会振替口座宛に10月10日(金)までに送金してください。

口座記号・口座番号 00150-3-360213

加入者名 日本農業労災学会

3. 開催までの主なプロセス

大会参加申し込み並びに大会参加費等の入金を確認された方に対し、10月7日(火)頃より参加申込者にメールにてZoom接続のためのURLや報告要旨のダウンロード情報等をご案内いたします。各自ダウンロードしてご利用ください。さらに、対面参加者には大会当日受付にて報告要旨集を配布いたします。

III 大会事務局、問合せ先

本シンポジウムについての問合せは、下記までお願いいたします。

●大会実行委員長 東京農業大学国際食料情報学部アグリビジネス学科 教授 半杭 真一

TEL 03-5477-2771 E-mail sh206187@nodai.ac.jp

●常任理事 北田紀久雄 TEL 090-4957-2039 E-mail kitada@nodai.ac.jp

●学会事務局 1ページの扉参照

以上

日本農業労災学会第12回シンポジウム開催要領

テーマ

地球温暖化時代における熱中症対策を考える

シンポジウム趣旨

熱中症とは、高温多湿な環境で体温調節機能が乱れて体内に熱がこもった状態になる病気で、重症化すると命の危険を伴うこともあります。毎年深刻化する地球温暖化の影響は作物・家畜だけでなく、農業労働を担う農業者の安全の大きな脅威となっています。農林水産省によれば、農作業中の熱中症による死亡者は直近10年間で259人と農作業死亡事故のうちの約1割を占めています。特に高齢者で多く発症しています。熱中症の予防については、炎天下での作業、高温多湿のハウス内での作業などの作業環境のリスクへの対応、自覚症状等の異変の早期の発見と対策、作業環境・作業の服装改善などによる総合的な予防対策が重要です。

本シンポジウムでは、総合的な熱中症予防政策、医学的な見地からの熱中症予防・応急対策、農協などの熱中症対策の取り組み、さらには熱中症予防のための各種のアイテムの活用など、熱中症を防いで安全に農作業を行うという視点から、各分野から情報提供をいただき、意見交換を行いたいと考えています。

プログラム

開 会		13:00
開会挨拶	日本農業労災学会 会長 田島 淳	13:00～13:05
	東京農業大学 学長 江口 文陽	13:05～13:10
座長解題		13:10～13:20
座 長	半杭 真一 (東京農業大学教授)	
	鈴木 祐子 (株式会社日本農業新聞論説委員室論説委員長)	
基調講演 (30分)		13:20～13:50
	熱中症対策の推進について	
 美保 雄一郎 (農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室長)	
講 演 (各20分)		
講演1	医学的に見た熱中症の予防・発症時の対応について	13:50～14:10
 神田 潤 (日本緊急医学会、熱中症および低体温症に関する委員会・委員長)	
講演2	大塚製菓の熱中症対策への取り組み	14:10～14:30
 奥山 元博 (大塚製菓株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 ソーシャルヘルス・リレーション部)	

- 講演3 熱中症対策商品の開発とその機能 14:30~14:50
..... 山下 健一郎 (ミドリ安全株式会社 環境用品営業室 室長)
- 講演4 JA共済における熱中症への対応と地域貢献について 14:50~15:10
..... 山口 哲央 (JA共済連全国本部 農業・地域活動支援部)
- <休憩> 15:10~15:25
- 補足意見ならびにコメント (各10分)
- その1 (JA組織としての熱中症対策への取り組み) 15:25~15:35
..... 宮永 均 (JAはだの 代表理事組合長)
- その2 (労働安全衛生規則の改正と熱中症対策の義務化・認定上の課題) 15:35~15:45
..... 橋本 将詞 (社会保険労務士事務所社労士 所長)
- その3 (農業法人による熱中症対策・労災防止対策の実践) 15:45~16:05
..... 初本 真澄 (株式会社 真庭技建 総務部部長、岡山県)
【サポート：藤井 明子 (合同会社 AKIAGRI 代表社員)】
..... 大森 孝宗 (有限会社 あぐり、愛媛県)
- 総合討議 (座長総括含み 50分) 16:05~16:55
- 閉会挨拶 日本農業労災学会 副会長 宮永 均 16:55~17:00
- 閉会 17:00